

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37356
事業名	町内会活動総合支援費					
評価担当課	所属名	市)地域振興部 市民自治推進課				
	課長名	川村満	担当者名	佐々木・杉原・竹中	電話番号	011-211-2253
施策名	主	地域活動を活性化する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	町内会活動が直面する担い手の確保や町内会加入の促進といった課題の解決を支援することを目的とする。(事業目標:町内会自治会検索サイトによる町内会加入希望者数(累計) 2018年度:658件→2022年度:1,200件)			
		長期	少子高齢化の急速な進行を背景として、地域課題が複雑多様化するなか、地域活動の中核を担う町内会の活動を活性化することで、快適な生活環境の確保、地域社会における安全及び安心の推進など暮らしやすいまちを実現する。			
	取組内容	地域活動の中核を担う町内会活動をより活性化することを目的に、町内会活動への意識啓発、町内会自体の活動の支援、不動産団体等と連携した取組等を実施し、町内会活動の底上げを図る。 ①町内会加入促進意識啓発②町内会活動活性化支援(各区にて実施)③不動産関連団体等との連携(啓発イベント等)④町内会支援事業(町内会アドバイザー派遣等)				
	実施結果	①各種広報媒体(テレビ、ラジオ、SNS広告、YouTube広告、地下鉄車両掲示板等)を活用し、町内会への加入促進を啓発。他、札幌駅前通地下歩行空間のイベントスペースいにおいて町内会に関するパネル展等を開催し、市民への直接的な働きかけを実施(計15日間)。②各区において、町内会の意向や地域の実情に合わせた支援を実施③不動産関連団体等と連携し転入者等にPRチラシを配布。④町内会にアドバイザーを派遣し、課題解決につながる支援を実施(13地域、51回)。				
事業実施における工夫点	平成30年度に考案したオリジナルキャラクター(マチモヒーロー家族)に加え、今後の町内会活動を担う世代をターゲットとした等身大の人物をメッセンジャーとして起用し、町内会活動への意識醸成を図った。また、各町内会が抱える課題に応じて支援できるよう、個別対応が可能なアドバイザーを派遣した。					
対象者	町内会	開始	平成26年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	自治基本条例、市民まちづくり活動促進条例、犯罪のない安全で安心なまちづくりに関する条例					
他都市の状況	具体的な内容は様々だが、町内会加入促進啓発や不動産団体との連携、町内会活動を支援する取組などは、全ての政令指定都市において展開されている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	24,452	31,000	24,139	33,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.8	0.8	0.8	0.8	
人件費	5,760	5,760	5,760	5,760	
計(事業費+人件費)	30,212	36,760	29,899	38,760	
事業費の内訳	令和3年度決算	①町内会加入促進啓発:10,188千円 ②町内会活動活性化支援:5,016千円 ③不動産関連団体等との連携:0千円(①加入促進と合わせて実施) ④町内会アドバイザー派遣等:8,935千円			
	令和4年度予算	①町内会加入促進啓発:11,300千円 ②町内会活動活性化支援:10,000千円 ③不動産関連団体等との連携:0千円(①加入促進と合わせて実施) ④町内会アドバイザー派遣等:11,700千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1		指標名	不動産業との連携のあり方検討会開催数(累計)		
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
		—	—	—	—
活動指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1		指標名	町内会自治会検索サイトによる町内会加入希望者数(累計)		
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
		968	1080	1161	1200
成果指標2		指標名			
		令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	不特定多数の市民が行き交う札幌駅前通地下歩行空間のイベントスペースを活用したパネル展により、市民へ直接的に町内会への参加促進啓発を実施したほか、各区の実情を踏まえながら町内会活動及び運営の活性化を支援したことにより、地域意見が反映された支援を実施した。また、町内会アドバイザー派遣では、応募があった地域に対し、課題解決につながる支援を実施した。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	連携している不動産団体等による会員等への町内会活動促進リーフレットの配布協力や、札幌駅前通地下歩行空間のイベントスペースでパネル展を開催し、直接的な啓発を実施したほか、各種広報媒体での町内会加入啓発などにより、多くの市民に対し啓発することができた。また、町内会アドバイザー派遣への申込数は募集数に達しており、事業規模としては概ね適切であると考えられる。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	札幌駅前通地下歩行空間のイベントスペースにおいてパネル展を開催することで、不特定多数の市民に対し、町内会への加入促進啓発を実施することができたため、適切であると考えられる。また、町内会の課題解決については、個々の町内会の状況に応じて対応するアドバイザー派遣等を実施したことで支援できたと考えられる。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	令和2年度に実施した町内会加入促進啓発事業時のアンケート結果によれば、町内会活動への参加意義や大切さを知る上で効果的な手法として、「チラシ・パンフレット」の活用が高く、また若年層ではSNSの活用などが高い傾向にあることから、どちらも広報媒体として活用しているため、対象者のニーズに即していると考えられる。また、アドバイザー派遣を受けた町内会へのアンケート結果では、その支援に対する満足度が高かった。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	町内会加入促進啓発においては、令和2年度実施のアンケート結果でも効果的と評された「チラシ・パンフレット」の活用を今後も積極的に行っていくとともに、若年層を対象としたSNS等をより積極的に活用し、関心のない世代への啓発方法を検討する。また、町内会活動への支援については、参加者等の意見を取り入れながら、ニーズに沿った事業を実施していく。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	アンケートの結果等から、本事業が、町内会について知るきっかけづくりや町内会の課題解決において一定の効果をもたらしていることがわかり、町内会活動の活性化に資する事業であったと考えられるため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 町内会を対象としたアンケート調査においてニーズを把握するとともに、来年4月施行の「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」を踏まえ、町内会の維持と活動の活性化に向けた取組を強化する。			
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」の施行に際し、条例周知や不動産関連団体との連携強化に取り組む。他、定期的に実施している町内会を対象としたアンケート調査を実施する。			見直し効果額